

# 2025年度活動方針(案)

一般社団法人北海道中小企業家同友会  
代表理事 池川 和人



一般社団法人  
北海道中小企業家同友会

# 活動の力点(案)

## 1. <会員として>

労使見解を土台とした経営実践に取り組み、「人を生かす経営」で企業体質の強化・変革をすすめよう

## 2. <組織として>

未来を見据えた地域づくりを考え、幅広い連携で同友会理念を広げよう

## 3. <役員として>

学びと実践のサイクルを回し、同友会理念を体現する企業を1社でも多く増やそう

# 企業づくり

1. 労使見解を軸に、企業体質を強化し  
喫緊の経営課題を克服しよう
2. 2025共同求人・社員教育活動全国交  
流会in北海道で学び、人材確保と社  
員教育を推進しよう

# 経営環境の改善と 地域づくり

1. 中小企業振興基本条例の制定と活用を進め、  
地域の未来をデザインしよう
2. DOR（景況調査）を活用し情勢変動への  
鋭敏な感覚を磨き政策提言につなげよう



# 同友会づくり

- 1.中期ビジョンを掲げ活動をスタートしよう
- 2.会内外に同友会を発信し、仲間づくりを広げよう
- 3.課題を学び合える質の高い例会を実施し、最高の学びの場である第40回全道経営者“共育”研究集会inくしろを成功させよう



# むすび

- ・『人を生かす経営～中小企業における労使関係の見解（通称：労使見解）』の発表から50年
- ・すべての人がその素晴らしさを発揮できる社会の実現に向けて活動を

次代に続く

**「企業づくり、地域づくり、同友会づくり」  
に共に邁進しよう！**



一般社団法人  
北海道中小企業家同友会





# 中期ビジョン（案） （2025年～2030年）



# 中期ビジョン策定の背景と意義

- ◎ 経営環境の変化は、多くの中小企業を苦境に。  
この苦境に負けない、未来に向けたビジョンが重要。  
→ 「5年後の2030年に目指す未来への羅針盤」として  
ビジョンを策定することに。
- ◎ 北海道同友会は現在10支部と46地区会あり、歴史や  
特徴は異なる。しかし「ありたい姿」にむけて同友会  
運動と学びを実践していくことは、全会員共通の課題。  
→ 「5年後にはこうなっていたい」という思いを抱き  
示した「2030ビジョン」を全会員で共有したい。





# 中期ビジョンの位置づけと活用

◎経営指針づくり同様、同友会理念の実現と「2030ビジョン」の達成に向け、毎年の全道方針及び、支部や地区会の方針で具体的に取り組んで参りましょう。

◎ビジョンは作って終わりではなく、折に触れ読み返し、現在とのギャップを認識し、何が足りないか、何をすれば近づけるかを確認し合うことが大切です。

→中期ビジョンの活用について2つの提案

- ① 全道や専門委員会の年度方針との関連性
- ② 現在地の確認



中期ビジョン スローガン

地域に役立つ企業を目指し、  
「共創」で自社の存在意義  
を高めよう！



# 共創で目指す 5つの目標



# 2025年～2030年までの基本方針

- (1) 私たちが目指す企業づくり
- (2) 目指す経営環境の改善と地域づくり
- (3) 同友会づくりの基本方針
- (4) 事務局づくり



# まとめ

時代は激変期を迎えています。  
まずは2030年に向けた取り組みを、  
しっかりとこの同友会で学び、実践し、  
この2030ビジョンが、皆さんの未来に  
繋がる一助になれば幸いです。